

# ABU アジア・太平洋ロボットコンテスト 2002 東京大会

「ロボマガ」記者・城井田 勝仁 きいだ かつひと



ベトナム代表 ホーチミン市工科大学



日本代表 金沢工業大学

## ABUロボコンとは

19の国と地域から選ばれた代表チームがアジアのトップを目指す!

ABUロボコンは、昨年まで10回にわたって行われた大学ロボコンの流れをくむものだ。これまでは、書類選考された国内の大学を中心に、海外の数校を招待する形で行われてきたが、今年から大きく様変わりし、ロボット版アジアカップとも呼べるほどの国際大会となった。

従来の大学ロボコンと大きく異なるのは、19の国と地域から、国内予選を勝ち抜いた学校が参加することである。日本国内でも熾烈な予選大会が実施され、その上位2校が出場権を手に入れた。本来は代表1校のみだが、開催国ということで2校の出場が許されたのである。

NHKがABU（アジア・太平洋放送連合）加盟放送機関に呼びかけて実現されたロボコンだけあって、大会の様子は多くの国で放送されることになっている（生放送も行われた）。ロボコンの盛んな日本以上に海外の注目は高く、特に中国やマレーシアなどは国家的教育事業と位置づけているという。EBU（ヨーロッパ放送連合）もこれを機に「EBUロボコン」を検討し始めており、近い将来に「ワールドチャンピオン大会」が実現する可能性もある。

### 予選リーグ

組	学校	国	組	学校	国
A	南太平洋大学	フィジー	E	サバンチ大学	トルコ
	カザフ国立工科大学	カザフスタン		モラトワ大学	スリ・ランカ
	トリブワン大学	ネパール		国立科学技術大学	バキスタン
B	モンゴル科学技術大学	モンゴル	F	金沢工業大学	日本
	中国科学技術大学	中国		ネルマ工科大学	インド
	キングモンクット工科大学トンプリ	タイ		インチョン大学	韓国
C	スラバヤ電子工学ポリテクニク	インドネシア	G	マカオ大学	マカオ
	マルチメディア大学	マレーシア		ニーアンポリテクニク	シンガポール
D	ホーチミン市工科大学	ベトナム		アインシャムズ大学	エジプト
	クイーンズランド大学	オーストラリア			
	豊橋技術科学大学	日本			

同じ組内で総当たり戦を行い、基本的に全勝したチームが決勝トーナメントへ進出する。